

第6回 札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会を開催

札幌開発建設部で現在実施中の夕張シューパロダム建設事業及び幾春別川総合開発事業のダム事業について、一層の事業費・工程監理の充実を図るため、「コスト縮減策やその実施状況」、「事業の進め方等」について学識経験者等のご意見を頂く場として「札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会」を開催いたしました。

記

➤ 開催日時 平成25年8月1日（木） 15:30～17:00

➤ 開催場所 札幌開発建設部内会議室

➤ 議 題

1. 夕張シューパロダム建設事業

- (1) 事業の実施状況
- (2) 平成26年度 事業実施方針
- (3) 試験湛水について

2. 幾春別川総合開発事業

- (1) 事業の実施状況
- (2) 平成26年度 事業実施方針
- (3) ダム検証について



「札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会」委員名簿

◎委員長（敬称略、五十音順）

名前	役職等
◎泉 典洋	北海道大学大学院工学研究科 教授
いずみ のりひろ	
浜本 聡	独立行政法人土木研究所寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ グループ長
はまもと さとし	
向田 直範	北海学園大学法学部政治学科 教授
むかいだ なおのり	
山下 弘市	元北海道土木技術会 コンクリート研究委員会委員
やました ひろいち	

◆議事要旨◆

○各委員からの主な意見は以下のとおり。

(1) 夕張シューパロダム建設事業

(質問) 発電に関する補償額確定の見込みは。

(回答) 近々補償に関する協定を締結し確定する予定。総事業費内に納まる見込みである。

(意見) 総事業費内で納まるようであれば、問題ない。

(質問) 試験湛水を踏まえた追加グラウト等を想定しているのか。

(回答) 他ダムを参考に想定しており、費用も総事業費内に納まる見込み。

(意見) 了解。なお、グラウトについては、基礎排水孔であらかじめ透水試験を行い、その結果を踏まえて追加グラウトするなど万全を期してきたと思われる。

(質問) 地すべりのおそれはないか。

(回答) 地すべりの懸念箇所については、土研等と相談しながら対策を実施してきているところ。

(2) 幾春別川総合開発事業

(質問) 基本計画の変更を行う予定か。

(回答) 現在の基本計画の工期が平成27年度までであり、また、事業費の変更を行う必要があることから、変更する必要があると考える。

(質問) 工期を延伸すると現計画より総事業費が増えるのか。

(回答) ダム検証の点検結果を踏まえ、工期の延伸、事業内容の見直しにより増加する見込み。

(質問) 三笠ぽんべつダムは、流水型ダムに型式変更されているが、現在の社会情勢を鑑みて水力発電を目的に加えた事業変更は今後考えられるか。

(回答) 流水型ダムは環境面で河川の連続性が確保されていることがメリットであり、水力発電のために貯留すると環境面ではデメリットが生じる。コスト面に加えて環境面を考えても当ダムでは難しいと考えている。

(以上)